

金沢大学法務研究科  
2011年度「法理学」小テスト  
6月3日 16:30～17:15 実施/ 出題: 足立英彦  
解答・解説(30点満点)

1. 次の命題の真理表を書け。(各3点)

(a)  $\neg(A \wedge \neg A)$

解答

A	$\neg A$	$A \wedge \neg A$	$\neg(A \wedge \neg A)$
T	F	F	T
F	T	F	T

(b)  $A \rightarrow (B \rightarrow A)$

解答

A	B	$B \rightarrow A$	$A \rightarrow (B \rightarrow A)$
T	T	T	T
T	F	T	T
F	T	F	T
F	F	T	T

2. 次の文を論理式で書け。ただし、次の解釈を用いること。(各1点)

$Jx$  「xはジーンズを穿いている。」  $Sx$  「xはスニーカーを履いている。」

(a) すべての人はスニーカーを履いている。解答  $\forall x Sx$

(b) 誰もスニーカーを履いていない。解答  $\forall x \neg Sx$

(c) すべての人がスニーカーを履いている, というわけではない。解答  $\neg \forall x Sx$

(d) スニーカーを履いている人は, ジーンズを穿いている。解答  $\forall x (Sx \rightarrow Jx)$

(e) ジーンズを穿き, かつスニーカーを履いている人がいる。解答  $\exists x (Sx \wedge Jx)$

3. 次の推論は論理的に正しい推論であるか。真理表を用いつつ説明せよ。(3点)

解答

$A \rightarrow B, B \vdash A$

A	B	$A \rightarrow B$	B	A
T	T	T	T	T
T	F	F	F	T
F	T	T	T	F
F	F	T	F	F

前提がすべて真となる場合(1, 3行目)において、結論が偽となる場合(3行目)が存在するので、問の推論は論理的に正しい推論ではない。

4. 「OV (Vは義務である)は真」という文を、義務様相を意味する語・記号を用いなくて説明せよ(言い換えよ)。(2点)

解答 「すべての理想世界において V が真である。」または、「すべての理想世界は V である。」

5. 次の二つのルールが定められている場合の問題点と対応策を説明せよ。なお、考えうるすべての対応策を挙げること。(6点)

- (a) 火災が発生したら、列車を止めなければならない。  
(b) トンネルを走行中は、列車を止めてはならない。

解答

問題点：トンネルを走行中の列車に火災が発生した場合、(a)のルールは列車を止めることを義務づけ、(b)のルールは列車を止めないことを義務づけている。作為義務と不作為義務(禁止)は反対の関係にあるので、同時に真ではあり得ない。したがって、トンネルを走行中の列車に火災が発生した場合、一方のルールに従うなら他方のルールを無視しなければならない、という問題がある。

対応策：(a)(b) どちらかのルールを廃止する。(a)のルールに、「ただし、トンネル走行中は列車を止めなくてよい(又は、止めてはならない)」という例外を付け加える。(b)のルールに、「ただし、火災が発生したら、列車を止めてもよい(又は、止めなければならない)」という例外を付け加える。

解説 問題点の説明に2点、対応策に4点(どちらかのルールの廃止に2点、それぞれのルールに例外を設けることに2点)。

6. 「a は b に対して G を行わない義務を有する」という命題が真である場合、次の問に答えよ。(各2点)  
(a) b はどのような法的地位にあるか。

解答 「b は a に対して G を行わないことを求める権利を有する」という法的地位にある

- (b) 「a は b に対して G を行わないことを許されている」という命題の真理値は何か。また、その理由も説明せよ。

解答 真。「a は b に対して G を行わない義務を有する」( $Oab \rightarrow G$ )という地位は、問(b)の「a は b に対して G を行わないことを許されている」( $Pab \rightarrow G$ )という地位を含意する(前者と後者は大小の関係にある)ので、前者が真であれば後者も真である。

- (c) 「b は a に対して G を行わないことを求める権利を有さない」という命題の真理値は何か。また、その理由も説明せよ。

解答 偽。「a は b に対して G を行わない義務を有する」( $Oab \rightarrow G$ )場合、問(a)で答えたように、「b は a に対して G を行わないことを求める権利を有する」( $Rba \rightarrow G$ )。この法的地位と問(c)の「b は a に対して G を行わないことを求める権利を有さない」( $\neg Rba \rightarrow G$ )という地位は矛盾の関係にある。したがって、 $Oab \rightarrow G$  が真であれば、 $\neg Rba \rightarrow G$  は偽である。

7. 講義に対するご意見、ご感想、改善提案等を答案用紙に記入してください。(何らかの記入があれば2点)

参考情報(6月10日現在)

履修登録数	受験者数	平均点
9	9	27.9

\* 30点4名。

以上